

西宮管工事業協同組合青年設備研究会 水源地クリーンキャンペーン

担当役員 海藻 孝夫

実施日 平成19年11月17日（土）

参加者 20名（青年部会員10名、親会会員2名、家族8名）





今回で4回目となる水源地クリーンキャンペーンの実施計画にあたり、実施時期、遂行人数の早期把握及び清掃可能場所の選定などを念頭に置き、計画案を練りました。

まず、西宮市水道局にアポイントを取り、西宮市水道事業管理者 井田様より、清掃場所については施設管理部長の意見を仰ぐよう指示を受け、結果、西宮市の中部に位置する甲山（かふとやま）のふもとにある、北山貯水池・北山浄水場周辺に決定しました。

施設周辺には、軽登山道・遊歩道などがあり、ハイカーなどの行楽客の利用時期を考慮にいれ、秋口の11月中旬に実施するのが良いのではないか？ という意見でまとめ、参加の可否のアンケートを兼ねた案内状を作成し送付しました。

案内状送付に当たっては、水源地の清掃という活動内容の趣旨から、青年部会員に限定せず、親会を含んだ組合員全社に案内状を送付し参加を呼びかけました。

清掃活動は午前中の3時間程度行い、その後、お昼は「お疲れさん会」と「親睦会」を兼ねて、近くのバーベキューが出来る施設の整った公園でのバーベキュー大会を併せて行う企画にしました。

当日は天候にも恵まれ、また、土曜日とい

う営業日にもかかわらず、親会の組合員、青年部会員とその家族等、多数の参加をいただきました。一見きれいに見える場所でも、休憩所付近にはタバコの吸殻等もあり、可燃ゴミ・不燃ゴミ合わせてゴミ袋で15袋・約40kgのゴミを收拾することができました。様子を見に来て下さった施設管理者など水道局職員の方からも感謝の言葉をいただき、少しはお役に立てたかなと、うれしく思いました。

なお、收拾したゴミについては、分別後予め連絡をとっていた市役所の業務課に、後日無料で処分していただきました。

貯水池周辺は、当初考えていた程のゴミや不法投棄等の汚染はなく、登山道などを利用している方々の意外な程の意識の高さに感心させられたという想定外の嬉しい発見もありました（休憩所付近には少し吸殻も見受けられましたが…）。

最後に、この“水源地クリーンキャンペーン”を今後も、当青年部の「家族参加型事業」として続けていき、できれば他の市民団体とも連絡を取り合って、地域に密着した“町の設備屋さん”の集まりである管工事組合が率先して、環境問題に取り組んでいきたいと思いをします。